

工事期間を1年延長

**福祉施設整備事業補助
(1億7千万円)**

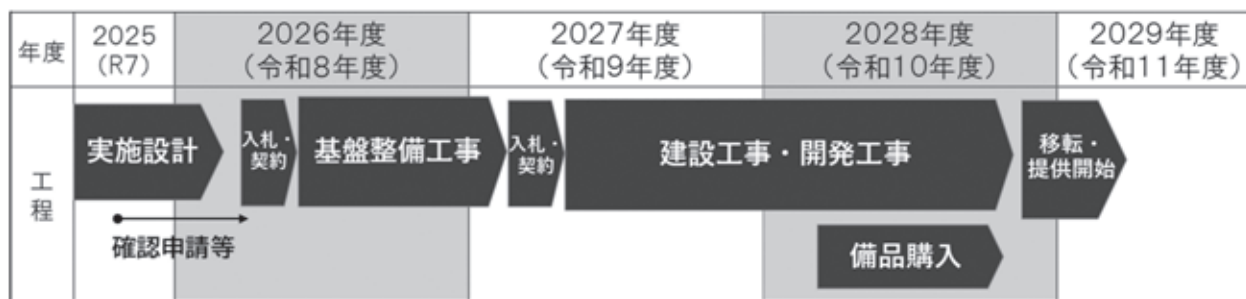
道内の建設工事において、入札不調や工期延長が発生している状況を考慮し、十分な工期を確保するため、建設工事の完成時期は令和9年度末から10年度中に変更します。

実施設計の完了予定は令和8年5月末で、令和8年度には杭工事などの基盤整備の一部を行います。

物価高の影響で建設費の上昇が想定され、基本計画（令和5年10月）時点で総事業費は30億6千万円の見込みでしたが、令和8年1月概算40億5千万円で現在調整中です。

新たな福祉施設は社会福祉法人ゆづりゆづが整備し、運営します。

建設費はゆづりゆづが道からの補助金を活用するほか町が助成し、その財源としては過疎債や基金などで対応します。



▲新たに示された福祉施設の建設スケジュール

Q 当初の計画を変更して杭工事のみ実施する理由は。

A 道の補助金を受けるには「工期2年」の要件を満たさなければならず、変更前スケジュールでは工期3年になる可能性があり、杭工事を先行する。

杭打ち付けは8〜9か月ほど掛かり、令和9年度から本体工事に入る計画。

Q ボーリング調査の結果は。

A 2か所調査したところ、流動化・液状化の恐れのある土壌も確認された。

支持層到達までの長さ約16メートル、最大186本の鋼管杭が必要と想定される。

Q 杭工事と本体工事を分けると入札が2回必要で、入札不調のリスクもあるが、当初計画から工程に不備があったのでは。

A 入札に関しては不調にならないよう進める。

杭工事は業者から10月時点で「5か月」と聞いたが、12月時点で「杭製作に時間を要するため8か月に延長」と聞いた。

行政側としても、苦渋の選択の中でスケジュール変更したことをご理解願いたい。

Q 杭工事が延長したことも工期延長の理由に含まれるのか。

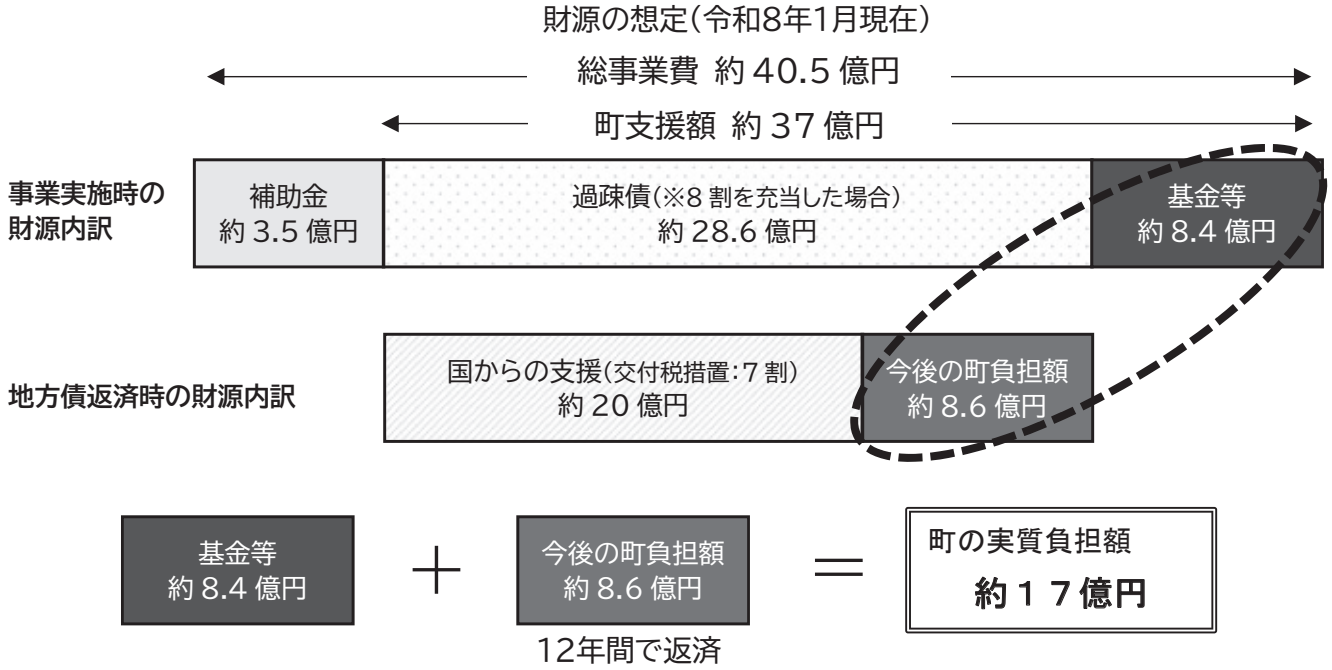
A 杭工事期間の延長も要因の一部として考えられる。



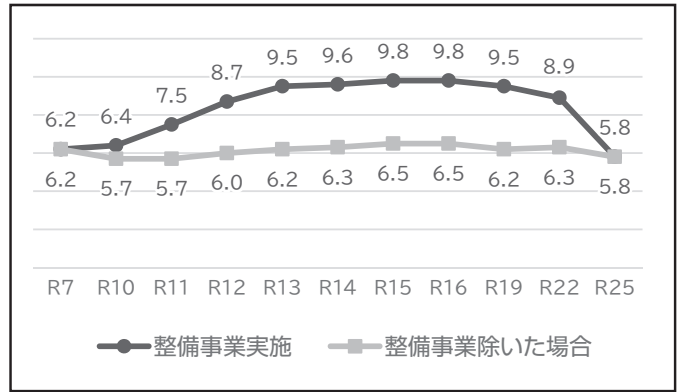
▲ボーリング調査の概要

新たな福祉施設

総事業費40.5億円



実質公債費比率のシミュレーション



実質^{*}公債費比率(3か年平均)は、令和11年度以降に上昇する見込みですが、令和15年度のピーク時には9.8%に達します。この数値は令和6年度決算における道内平均9%を上回りませんが、健全な範囲内で推移することが予想されています。将来の財政状況についての見直しから判断すると、整備事業による財政負担は他の住民サービスに対して影響を及ぼさないと考えられます。

Q 備荒資金組合積立金は災害等があった場合に備えておくべきと思うが、取り崩す理由は。

A 備荒資金組合積立金には「普通納付金」と「超過納付金」があり、今回想定で示した「超過納付金」は制約なくこの事業にも使える基金外の財源。

基金をなるべく残すため、基金より先に備考資金組合積立金を財源として充てる考え。

Q 令和8年度予算は骨格予算のため6月補正が多く予想され、財源も心配されるが町長はどう対応するのか。

A 今までの経験を最大限に生かし、国の様々な支援事業を活用することにも、歳入歳出含め各事業を見直し、町民の皆様が納得できる体制を考えていく。

※実質公債費比率…町の収入のうち、どれくらい借金返済に使っているかの割合。

地域で育む新しい部活動

部活動地域展開等推進

(62万円)

国が推進している中学校部活動地域展開の取り組みで、令和8年度から体制を維持しつつ、休日に指導者が確保できる部活動から順次、サポーターバンク登録人材を活用し、指導及び大会引率を行います。

サポーターバンク登録は現在11名で「部活動指導員」「外部指導者」に報酬が支払われます。

R7 和寒中学校 部活動入部状況

開設部		開設部外	
音楽	2	陸上	6
クロカン(兼1)	10	バレー	0
バスケット	10	ソフトテニス	3
野球(兼1)	7	柔道	4
卓球	22	アルペン	3

部活動指導員と外部指導者の報酬額

任用の種類	報酬額
部活動指導員	1,600円/時
外部指導者	1,200円/時

※部活動指導員…顧問教諭が不在でも、練習の指導や大会等の引率ができる

※外部指導者…顧問教諭と一緒にあれば、練習の指導や大会などの引率ができる

Q サポーターバンクの登録は町職員も可能か。兼業副業の制度は整備しているのか。

A 町職員も登録は可能で、報酬も支払う。兼業副業は現在整備している。

Q 保護者の金銭的負担は。

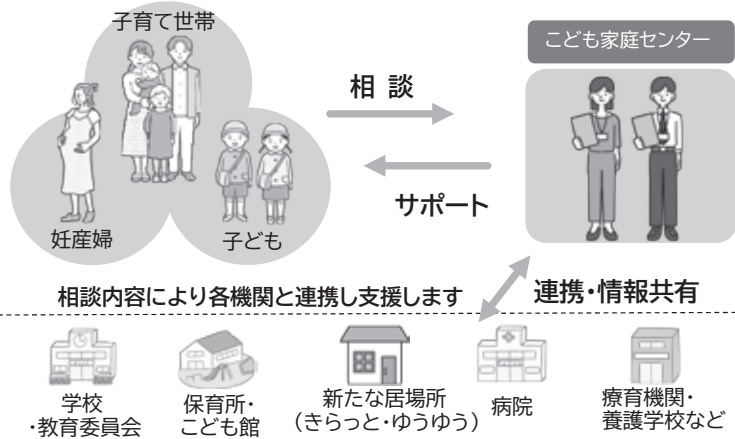
A 金銭的負担は掛かると想定される。近隣自治体の情報を集め体制を整えていく。

※サポーターバンク…部活動や地域クラブ活動の指導者を登録、紹介する制度

子どもと家庭に安心の仕組み

こども家庭センター

(1896万円)



設置が努力義務とされたことに伴い「和寒町こども家庭センター」を保健福祉課に設置します。

Q 対面では相談が難しい場合もあるのですが、子ども保護者も相談しやすい環境作りとして、他自治体でも行われているLINE相談を実施する考えは。

A 子どもが相談する手段として望ましい面もあるので、先進地事例を勉強し検討する。

産後ケア事業 宿泊型追加 (30万円)

従来の訪問型・日帰り型に「宿泊型」を追加します。

Q 利用回数の制限は。

A 制度利用が1人7回までで、宿泊型を利用した場合1泊2日で2回カウントする。

移動を支える優しいまちづくり

おでかけハイヤー

(364万円)

利便性と利用率の向上を図るため、交付・利用方法等の制度内容を見直します。

助成額は1枚につき500円(上限42枚)で、おつりの出ない範囲で複数枚利用が可能です。



▲制度が拡充されたおでかけハイヤー

Q 遠方の方も利用しやすくなるかと考えられるが、数回の往復で上限まで使い切る方もいる。

A 利用状況の分析をしっかりと行い、ほしい。

Q 今回は、遠方の方も利用しやすいように制度変更したが、変更してから利用者の意見等伺いながら今後も検討していく。

高校通学費支援

(667万円)

Q 子育て世代は事業継続を望んでいるが、通学費補助を今後どうするか。

A 事業継続していく考え。

また具体的な内容を説明できないが、制度内容の見直しを検討している。

安全と環境を守る地域対策

有害鳥獣被害対策

(2110万円)

エゾシカ捕獲奨励補助頭数を300頭に拡大するなど農作物被害の拡大を防ぐための取り組みを強化し、新たに緊急銃猟を実施する体制を構築します。

また、残雪期の4月から5月末まで春期管理捕獲を実施し、ヒグマの出没抑制を図ります。

Q ヒグマの目撃をLINE等で写真やGPS情報を送信すれば迅速に対応できるのでは。

A LINEやLOGOフォームが使用可能か研究する。

Q 春期管理捕獲の実施場所が「東丘、東和、塩狩、朝日、南丘」となっている理由は。

A 道が定める「集落から半径2キロメートル」の場所で設定。

可燃ごみ収集

(1820万円)



▲東和の生ゴミ処理場

Q 生ごみの収集方法を変更する理由は。

A 生ごみ処理場の施設老朽化と従業員の確保が難しいことから、令和9年3月で受入れを終了し、可燃ごみとして愛別町の施設で焼却処理する。戸別収集についても検討を進める。

持続可能な地域作りへの選択

自治会推進交付金

(850万円)

Q 交付金の段階的削減をしているが、物価高の影響もあり状況に応じた対応が必要では。

A 5年間で段階的に交付金を削減するのは決定事項のため途中で変更は難しいが、物価上昇率など勘案し、各自治会の状況も確認しながら今後対応する。

地場産業開発事業

(1600万円)

Q 商品開発をされる方に対する助成限度額引上げの考えは。

A 物価高の影響は理解しているが、限られた利用状況のため検証が必要。商工会と協力し周知徹底を図る。

農業活性化センター運営

(2237万円)

Q 活性化センターで栽培するホップを使ったクラフトビールは、販売に苦戦していると聞くと、今後の考えは。

A 製造から4年が経過し、ホップの収穫が手作業であることやビールを作るのに少量で済むことなどから、今後の方向性について検討している。



▲本町で販売しているクラフトビール

一般会計 討論

3月16日予算審査特別委員会

反対



石田議員

ふくし構想に関して異論はないが、財政をしっかりとやっていただきたいため反対。

賛成



酒向議員

実施設計前の予算を通すことに理解できないが、より良いものにしてもらうと信じて賛成。

賛成



池澤議員

町民に納得のいく説明ができるよう透明性を持って進めることを求めた上で賛成。

賛成



村岡議員

町民生活を支える大事な予算。新たな福祉施設を待つ方々に早く届ける必要がある。

反対2 石田・長澤

賛成6 小野田・酒向・村岡

池澤・遠山・斉藤

一般会計 討論

3月17日定例会

反対



石田議員

町民のための施設なのか、いまだに掘めなく不安要素が多いため反対。

賛成



長澤議員

手順上の懸念が残るが、町民への丁寧な説明と情報共有の継続を強く求め賛成。

反対1 石田

賛成7 酒向・窪田・村岡

池澤・遠山・長澤
斉藤

令和8年度予算審査報告

予算審査特別委員会に付託された予算は、3月17日の本会議で審査報告が行われ、会計ごとに採択し、一般会計は賛成7反対1、3特別会計、2事業会計は全員賛成で可決されました。